

空コンテナ返却最適化プロジェクト

最新技術の導入によるビジネス・モデル改革は選択枝ではなく必須戦略です・・・
空コンテナの返却プロセスの見直しは業界全体のコストと CO2 を大幅に削減します。



[プロジェクトへの参加企業、団体、個人募集中](#)

物流効率化で未来をつかむ！一次世代システムの提案

背景：変化こそチャンス！

トランプ政権下での関税引き上げや規制緩和政策が企業経営に影響を与える中、物流業界は今まさに効率化プロジェクトを推進する好機を迎えています。

生き残るためには、最新技術の導入と迅速なインフラ改善が必須戦略と言えます。

革新の概要：空コンテナ運用最適化システム

- **EIR 上の QR コードで返却先を選択** 配車担当やドライバーがスマホで QR コードをスキャンするだけで、最適な返却先を一目で確認。
- **輸送距離・時間の削減** 空回送の削減と過不足の調整を同時に実現し、物流効率を飛躍的に向上。
- **環境負荷の軽減** CO₂排出量を削減し、次世代物流システムの未来を

築く。

- **CRU（コンテナ・ラウンド・ユース）の推進** 内陸デボでの返却マッチングを加速、経済性と効率性を両立。

期待される効果とメリット

- ✓ **物流効率の大幅向上** 返却先を柔軟にし、過剰在庫拠点から不足拠点へ効率的に誘導。
- ✓ **CO₂排出量削減** 燃料消費を抑え、環境負荷の少ないサステナブル物流へ移行。
- ✓ **ドライバー負担の軽減** 混雑エリアでの待機時間を短縮し、2024 年問題に備える。
- ✓ **地方港の競争力向上** 地方港を活性化し、サプライチェーンの国際競争力を強化。
- ✓ **CRU マッチング率向上** コンテナ回送の効率を高め、輸送網全体を最適化。

導入プロセス：簡潔でシンプルな流れ

- ① EIR 上に QR コードを追加 通常返却先お

② **スマートな選択と調整** 配車担当が希望する返却先を QR コード経由で選定可能。

③ **効率的な返却** 返却条件を調整し、迅速で柔軟な運用を実現。

未来の物流は、ここから始まります！

④返却実施

今すぐ出来る行動プラン：空コンテナ返却
慣習の見直しから・・・

- 輸送セクターの事情に寄り添う
- EIR での空コンテナの返却場所における一律記載を改める
- 船社、荷主、輸送セクター間の情報チャンネルを造る
- 将来的にはシステム統合を検討する

```

graph TD
    Ras[Ras] --> Raf[Raf]
    Raf --> MEK[MEK]
    MEK --> ERK[ERK]
    ERK -- "X" --> JAK[JAK]
    JAK --> STAT[STAT]
    STAT --> Tyk2[Tyk2]
    Tyk2 --> IRK[IRK]
    IRK -- "X" --> ERK
  
```

[illegible]

<https://www.npo-escot.org>